

2022年度の大学祭は、各キャンパスで3年振りの対面開催となりました。7月2日の第23回半田キャンパス学部祭「七夕祭」、11月5日の第70回日本福祉大学祭、12月3日の第7回東海キャンパス祭はそれぞれ参加者を学生と教職員に限定し実施しました。

美浜キャンパスでは東北・中国・四国の3県人会合同で模擬店を出店し、それぞれの地域の特産品である青森の津軽りんごティー、山形の玉こんにやく、徳島の鳴門名産大学芋、島根の宍道湖産しじみの味噌汁を販売しました。当日は晴天に恵まれ、多くの学生と教職員で賑わい、昼過ぎには全メニュー完売となりました。

コロナ禍の影響もあり活動休止状態となっていた県人会でしたが、これを機に再始動し、交流を深めていきます。



▲ 賑わうキャンパスプラザ
▼ お揃いのハッピーポーズ



日本福祉大学 山形最上オフィス通信



2022年度 総まとめ

第30号

2023年3月31日発行

在学生に
会ってきました

社会福祉学部 社会福祉学科 医療専修 4年
佐久間 大地さん (福島成蹊高校出身)

福島

進路に迷っていた高校3年生のころ、性格的に社会福祉系が合うのでは？と担任の先生から勧められたことがきっかけで、福祉系の大学について色々調べるようになりました。中でも、福祉の世界で精通している日本福祉大学の学びの特色や環境に魅力を感じました。その時期は妹が入退院を繰り返していて、自分にとっては医療が比較的身近なものだったこともあり、医療専修を選びました。

医療専修では、「医療分野での社会福祉のあり方」について学んでいます。一人の患者さんに対して様々な専門職が連携しケアにあたる中で、患者さんが退院した後も自分らしい生活をしていくには、社会福祉士としてどうサポートすると良いのかを考え、日々勉強しています。模擬カンファレンスで保健師役として議論した際には、それぞれがしっかり連携しないと患者さんが望む支援には届かないのだと、多職種連携の重要性を実感しました。

サークルは「昭和区日曜学校」というボランティアサークルで知的障害を持つ方の余暇支援を行っています。活動は第2・第4日曜の月2回で、室内ではボーリングやの当て、外では公園でウォークラリーなどの



様々なレクリエーションを企画し実施しています。利用者さんに自分の名前を覚えてもらえたり、楽しんでいる姿を見るのは嬉しいですね。

大学で得た知識や多くの人との関わり、経験の積み重ねによって、多様な点から物事を見たり、論理的に考えるようになったと思います。例えば、余暇支援中に利用者さんがレクリエーションをやりたがらないとき、最初のうちは「多分こういう理由だろう」と直感的に決めつけてしまった部分もありましたが、今では様々な可能性を視野に入れて対応出来るようになりました。ニュースを見ていても、報じられたまま表面的に捉えるのではなく、その背景まで考えるようになりましたし、これは「ふくし」の視点が身に着いたからだと感じています。

また、ゼミやニュースの中で知らない単語が出てきたらすぐに調べることが習慣になりました。そこから派生してさらに調べていくと知識がどんどん積み重なっていくし、分からないままにしたりなんとなく分かったつもりでのでは物事の理解度が全く違ってくるので、常に学ぶ姿勢を忘れず成長し続けたいです。

日本福祉大学は、他大学の学生との合同講義や、様々な現場で活躍する方から貴重なお話を聞くなど、外部との繋がりによって学びを深める機会があり、福祉を学ぶにはとても良い場所だと思います。社会福祉を極めたい高校生のみなさん、ぜひ日福へどうぞ！

※掲載内容は取材当時（2022年度）のものです

東北公益文科大学 准教授 日比 眞一さん

(社会福祉学部 第1部 社会福祉学科 卒業)



高校生の頃から、教育も福祉も興味がありました。今に比べると福祉系大学が少ない中で、どちらも学べる日本福祉大学はブランド力があり、光っている印象だったので選びました。

当時の知多奥田はとてものどかでした。大学以外に行くところがなかったくらいなので、サークル活動は必須でしたね。入学式で美しいアカペラ四声の校歌が印象的だった「混声合唱団」に入団し、団活動についてびっくりするくらい高度な議論をしていたことを覚えています。それが今の研究職に繋がる何かを与えてくれたかもしれません。合唱コンクールでは全国大会まで進みました。楽しかったですね。

学友とは今もSNSなどで繋がっていて、学生時代の感覚のまま友だちづきあいが出来ています。これから日福で学ぶみなさんも、良い学友に恵まれるだろうと思います。学業はもちろん、学友、サークル、アルバイトなどあらゆる経験が自分の宝になりますね。

日福では、中高の教員免許や福祉の資格などを取得しました。卒業後、大阪と福岡で専門学校や短大の講師をしていた中で、福祉現場を知っておきたい気持ちが強くなり、特別養護老人ホームの生活相談員に転身。その後は教育現場に戻り、高校教諭として働きながら大学院で学び、社会福祉学の博士号を取得して大学の教員になりました。

現在は東北公益文科大学で准教授となり、社会福祉士の専門性について研究しています。福祉はあらゆる生活課題に取り組むがゆえに何でも屋のように見え、一般の方には何を専門にしているのかが伝わりにくいことがあります。現場の社会福祉士がどのような専門性を持った実践を行っているのか、利用者やその家族、他職種が理解出来るように説明するための中範囲理論の生成に取り組んでいます。

また、実践力を持った社会福祉士の養成を目指して指導しています。ゼミ活動の一環として、日本福祉大学社会福祉セミナーを聴講したことがあります。地域福祉のスペシャリストである原田正樹先生をはじめとした日福の先生方の講演を山形で聴けるチャンスだったので、先生方の著述などをゼミで学生たちと輪読してから参加しました。

福祉業界での名前の通り方の違いや、全国に広がっている日福ネットワークと絆の強さを感じる機会が多いですね。卒業後もセミナーや学習会など学びの機会があること、福祉に携わっている同窓生と繋がれることは日福の強みだと思います。山形に移り住んでも参加していますが、みなさん卒業生としての誇りを持ってそれぞれの実践に取り組んでおられるのでお互い励みになります。

福祉はとて幅広い課題に対応します。その背景となる社会福祉学は、高い学際性を持つこととなります。日福なら幅広い福祉の世界を十分にカバーできる学びのシステムがあります。ぜひ日福が公益大で、理論も実践力も備えた社会福祉士を目指してください。

※掲載内容は取材当時(2022年度)のものです

夢楽(むら)のパン工房 Yadorigi 店主 佐藤 幸治さん(経済学部 経済学科 卒業)

福祉関係の仕事をしていた母や、社会福祉学部 保健福祉学科(※現在の社会福祉学科)に進学していた従兄弟から影響を受け、日本福祉大学で学ぼうと決めました。興味があったトライアスロンが出来る点も日福を選ぶ後押しになりましたが、入学したらなんとトライアスロン部がないと判明！(笑)気持ちを切り替えて入部した陸上競技部で長距離走に動んだ結果100kmマラソンに挑戦して完走することができました。アルバイトでは半田市にあるスポーツクラブでインストラクターをしていました。

大学卒業後は大手パンメーカーに就職し、愛知県内のショッピングセンターのベーカリー部門で店長を務めてきました。そんな中、2011年に東日本大震災が発生。当初は岩手県に住む家族となかなか連絡がつかず、とても心配しました。姪っ子用の離乳食が足りないと知ればこちらで手配して送ったり、有志と一緒に石巻市や陸前高田市へ出向いて焼きたてワッフルを振舞ったり、被災地支援もしました。

いずれは地元で暮らしたいと考えていましたが、震災をきっかけにその思いがより強くなり、11年間勤務した会社を退社し岩手県へ戻ろうと決意しました。大学進学後に市町村が合併し現在の奥州市となったこともあり、まずは「今のふるさとは何かがあるのか、自分には何が出来るのか」を知る必要があると考え、地域おこし協力隊に着任しました。

地域おこし協力隊では農業や6次産業の支援、首都圏へ向けたPR活動などを中心に取り組み、協力隊在任中に知り合った前オーナーから声をかけていただいて、お店を引き継ぐことになりました。

卒業生に
会ってきました

当店では、岩手県産の小麦粉に奥州市産の八チミツと卵、そして南部鉄器で沸かしたお湯を使って食パンを作っています。仕上げに南部鉄



の焼き印を押し、伝統工芸品の岩谷堂筆筒の棚に並べ、ジャムやドライフルーツなど地域の6次化商品も一緒に販売しています。店内には水彩画や手芸、木工品など、地元の作家さんたちの様々な作品を月替わりで展示しているので、パンだけでなく魅力的な作品たちも楽しんでいただけます。

わが子たちをモチーフにしたお店のロゴは中学の同級生にデザインしてもらったものですし、地域の方々や友人・知人など、これまで出会った方々のご縁が詰まったお店です。岩手県には、誇れるものがたくさんあります。これからも地元資源を活用し、地域の魅力を伝えていきたいです。

今後の目標は、子どもたちが大きくなるまでパン屋を継続することです。この豊かな環境でのびのびと成長してほしいと願っています。家族みんな体を動かすことが好きですし、来年は奥州市のマラソンに挑戦してみようかなとも考えています。

学生のみなさんは、あらゆることに積極的にチャレンジして、自分がやりたいことを見つけてくださいね。

地域同窓会

8月20日に岩手県、8月27日に青森県、9月3日には秋田県で各県の地域同窓会総会が、そして10月29日は青森県で東北ブロック代表者会議が開催されました。対面型や会場とオンラインのハイブリッド型など形式は様々で、それぞれ感染対策に努めながら数年ぶりの開催となりました。

事業報告・計画を協議したのち、それぞれ近況を語りあい、久しぶりの再会を喜ぶ姿が見られました。現在、日本福祉大学の卒業生は全国で9万人超、東北地域では約1300人。それぞれが様々な形で



▲ 秋田県地域同窓会にて

ふくしに携わる中、世代を超えた交流を通じてお互いに良い刺激を受けられる場が同窓会です。みなさんぜひご参加ください。

ふくし学習会



2022年度は、地域ブロックセンター主催で「ふくし学習会オンラインセミナー」を実施しました。9月から10月にかけて全4回開催し、全国各地から多くの同窓会員・後援会員のみなさんにご参加いただきました。

本学教授・准教授、特定非営利活動法人代表を講師に迎え、なぜ「伴走型支援」が求められているのか、里親を支える「フォスターリングソーシャルワーク」とは、コロナによって脆弱化したつながりをどのように取り戻すか、長く家に暮らし続けるための課題とバリアフリーの方法など、様々なテーマでお話いただきました。

参加者アンケートでは「とても参考になりさらに学びを深められた」「制度の状況を知る良い機会となった」などの感想が寄せられました。

本学では、目的やライフスタイルに応じた先進的な学びの場を充実させています。日本福祉大学のリカレント教育で学びを深めませんか？

エッセイコンテスト

「人の幸せ」という普遍的な価値観である「福祉（ふくし）」をテーマに書くエッセイが、身近にある幸せを考え、自分を見つめ直すきっかけとなり「ふくしマインド」を育み、考え、行動することに繋がることを願って実施している「高校生福祉文化賞エッセイコンテスト」。



あなたの体温を、伝えてほしい。

第20回目となる今回は総数6842通の応募があり、入賞した22作品と学校賞12校のうち、東北地域からも賞に選ばれました。

第2分野 スポーツ・文化活動を通して -わたしが大切にしていること-

最優秀賞
わたしがもらった勇氣

遠藤日和さん
(東日本国際大学附属
昌平高等学校3年)

奨励学校賞

青森県立八戸西高等学校

在学生の活躍

日本福祉大学ではスポーツや学術文化、地域貢献活動など、課外活動において優れた成果をあげた学生やサークル・団体を表彰しています。

2022年度課外活動学生表彰では36個人10団体が表彰を受け、I部バドミントン部に所属している小林寿来さん（スポーツ科学部2年／青森県出身）が、2年連続での学生部長表彰となりました。

小林さんは、CBCラジオの番組内で本学バドミントン部の学生とともに紹介されたほか、1年時には地域ブロックセンターによる「在学生に会ってきました」シリーズで、これまでの活躍やこれからの目標について取材を受けています。インタビューは本学ホームページよりご覧いただけます。



(※裏面「お知らせ」欄にある二次コードより、地域BCウェブサイトの「卒業生・在学生紹介」へアクセスしてください)



第35回社会福祉士国家試験の結果が3月7日に発表され、通学課程・通信教育課程ともに新卒合格者数が全国1位となりました。

通学課程は、これまで行われた35回の国家試験のうち34回で新卒合格者数全国1位となっています。

第25回精神保健福祉士国家試験の結果も同日に発表され、通信教育課程の新卒合格者数が全国1位となりました。

第35回 社会福祉士国家試験			第25回 精神保健福祉士国家試験		
	新卒合格者数	合格率 (全国44.2%)		新卒合格者数	合格率 (全国71.1%)
通学課程	187名 全国大学1位	60.9%	通学課程	23名 全国大学5位	85.2%
通信教育課程	674名 15年連続 全国大学1位	69.1%	通信教育課程	90名 全国大学1位	85.7%

お知らせ

このたび、学園ホームページが全面リニューアルとなりました！URLに変更はありません。

HP【 <https://www.n-fukushi.ac.jp/> 】

また、学校法人日本福祉大学は2023年に学園創立70周年を迎えるにあたり、記念サイトを公開しました。これまでのあゆみや70周年プロジェクトなどを掲載しています。

新しくなったホームページと70周年記念サイト、ならびに地域BCウェブサイトもぜひご覧ください。

▶70周年記念サイトは
トップページより
ご覧いただけます。



ホーム
ページ



地域BC
ウェブサイト



学位記授与式

3月18日に学位記授与式が行われ、通学課程の学部生1424名、大学院生64名、通信課程1860名の計3348名

が卒業・修了しました。通学課程では、岩手県3名・宮城県1名・秋田県1名・福島県2名の計7名が卒業を迎えました。

感染症流行の影響で様々な活動が制限される中、思い描いたとおりのキャンパスライフだったとは言えないと思いますが、それでも大学生活を振り返って「日福を選んで良かった」と思っただけなのであれば、こんなに嬉しいことはありません。

卒業生のみなさん、おめでとうございます。これからのご活躍を心よりお祈りするとともに同窓会でお会いすることを楽しみにしています。



日本福祉大学 東北地域ブロックセンター 山形最上オフィス

〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内
電話：0233-43-9232 メール：yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp
Open：火曜～土曜 9:30～17:30 Close：日曜・月曜・祝日

